

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	マーブルハウスまゆみ		
○保護者評価実施期間	令和7年1月11日	～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 17	(回答者数)	15
○従業員評価実施期間	令和6年12月14日	～	令和6年12月20日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<input type="checkbox"/> こども園内に併設されているため、障害や特性の有無に関わらず同じ環境を通し、共に育ちあいながら過ごす機会を設けることができる。インクルーシブ保育の実践。	<input type="checkbox"/> 事業所の職員とこども園の職員間での情報共有や合同のモニタリング会議が実施されていることで、共通認識の元、療育や支援が可能となっている。	<input type="checkbox"/> 事例検討会の実施

2	<input type="checkbox"/> 機能訓練職員（作業療法士・臨床心理士）による個別のトレーニングが実施されている。WISC-VやNCプログラム等の標準化されたアセスメントも可能。	<input type="checkbox"/> 検査結果を支援へ生かすことができる。 <input type="checkbox"/> 個別支援計画への反映。	<input type="checkbox"/> より専門性を高めるための、研修等への参加
3	<input type="checkbox"/> 豊かな自然環境を生かし、園庭・ピオトープ・近隣の山や畑での活動や遊びを体験できる。	<input type="checkbox"/> 事業所の職員とこども園の職員が連携し、環境整備や安全確保に努めている。	<input type="checkbox"/> 園行事への参加方法や合理的配慮等の支援の実践

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<input type="checkbox"/> 状況によって、人手不足を感じる。利用希望者の増加により、お断りせざるを得ない状況がある。	<input type="checkbox"/> 配置基準は満たしているが、個別の対応に追われることもある。 <input type="checkbox"/> 支援を必要としている子、困り感を抱える子の増加に伴いニーズが高まってきている。	<input type="checkbox"/> 人材の確保。 <input type="checkbox"/> 求人募集を行っていく。
2	<input type="checkbox"/> HPを活用し、情報を発信する機会がなかった。	<input type="checkbox"/> 保護者とは、個人の連絡帳やメールで十分やり取りができているため、HPでの情報発信に対し、消極的であった。	<input type="checkbox"/> HPでの情報発信に対し、保護者に丁寧に説明し、活用方法を探っていく。
3	<input type="checkbox"/> 事業所での、きょうだい児の支援・交流の機会が持てていない。	<input type="checkbox"/> 保護者懇談会での保護者同士の交流はできているが、きょうだい児に対しての支援について話し合う機会を設けることが出来なかった。 <input type="checkbox"/> 併設されているこども園に通うきょうだい児同士の交流や子育て支援センターを通じての支援は行うことができている。	<input type="checkbox"/> こども園の行事や子育て支援センターの活動の告知を行っていきたい。